

令和6年10月23日

鳥取県知事定例記者会見

ねんりんピックとっとり大会が盛会のうちに閉幕

◎前年大会を上回る参加人数(観客等含む)延べ540,861人、想定経済効果130億円超

◇県内全市町村で29種目の交流大会、全国の高齢者が技を競い合う

鳥取県選手団は、総勢681名参加、上位入賞者26名、18チーム(うち優勝は9名、4チーム) <前回大会 準優勝2名>

◇初開催のeスポーツ、本県発祥バウンズボールが盛況

eスポーツ:18都県7政令市33チームが参加 地元の愛好家が増加 高校生との交流推進

バウンズボール:14県27チームが参加(2年前は鳥取、島根、神奈川のみ) 県外には皆無だった競技団体が創設された

◇県民一丸となった”ようこそ、ようこそ”のおもてなしの心で来県者を歓迎

・花いっぱい運動、ご当地応援のぼり旗の作成、会場や周辺道路等の清掃活動を実施

・募集人数1,000人を大幅に超える1,467人のボランティアが協力 ・211社の企業協賛(過去開催県の2倍以上)

・雨天で開会式が変更となり、出演機会がなくなった園児が閉会式で健康体操を披露 ・小学生が横断幕作成

◇地域の伝統芸能や老人クラブの活動などを披露する地域文化伝承館が大賑わい

鳥取の食を楽しむまんぷくフェスとの併催により、大人から子どもまで多くの方が鳥取の伝統や高齢者の創作活動に触れ知見を深める(3日間で延べ38,312人が来場)

◇鳥取砂丘、境港など県内観光地が盛況

試合後の21日、22日には鳥取砂丘等主要観光地をユニフォームで訪問する選手の姿が多く見られた

◇鳥取型ライドシェアの試行実施(タクシーアプリ『GO』利用回数:248回(うちライドシェア105回))

74名がドライバー登録 今後も大規模イベント時など需要増への対応を検討

◇大勢の来県者への宿泊輸送手段を確保、各種交流大会による市町村の大会運営のノウハウ蓄積

県内事業者での宿泊・輸送(宿泊延23,375人(7割)、輸送延1,340台(3割))不足分は県外で確保

◇安全対策の強化

参加者の安全確保のため開催前に全会場のバリアフリー点検を実施、また会場の医療救護体制を強化

ねんりんピックの成功を次のステージへ

◎とっとり大会を振り返り、レガシーとして今後引き継ぐ「ねんりんピックレガシー会議(仮称)」を開催 ⇒ 生きがいをもって暮らしていける地域づくり

【ねんりんピックレガシー会議(仮称)】

<開催時期> 令和6年12月まで

<会議メンバー> 福祉関係団体、県内経済団体、学校現場、報道関係 など

<検討すべき事項>

◇世代を超えてスポーツや文化芸能に触れることができる大会の創設を検討

例: プチねんりんピック(スポーツ大会、地域文化の発表)、バウンズボールなど本県発祥スポーツの全国との交流

◇高齢者の活躍の場、社会参加の充実(生きがいづくり、健康づくり、シルバー雇用)

◇輝く高齢者を顕彰する制度の検討(いきいきシニア表彰)

◎国民スポーツ大会・関西ワールドマスタースゲームズ等の開催へ今大会の経験を総括して反映

◇とっとりらしい“おもてなし”の更なる充実

◇市町村や競技団体の大会運営に係るノウハウの継続

◇宿泊輸送について、関係者等の意見を踏まえ、大会会期や開催方法を検討

◎今後、ライドシェアを活用した地域交通に関して関係者と協議を行う

◇大規模イベントなど、他の機会でも活用できないか関係者と検証する

今回実証したアプリ活用・キャッシュレス支払いに加え、新たに認められた現金払い・電話受付なども検討
展開にあたっては、事前の普及方法を検討する

令和7年度当初予算編成・政策戦略会議(10/23)

<予算編成方針・政策戦略の方向性>

- **社会保障関係費や人件費等の義務的経費増大により財源の制約を注視しつつも、行財政改革を推進し、重要課題解決へ積極計上**

[重点政策項目例]

- ねんりんピックのレガシーを活かしたシニア活躍・健康づくり
- 人口減少対策や「シン・子育て王国」の施策拡充
- 能登地震の教訓を活かした備えや自然災害に強い地域づくり
- 物価高や人手不足を乗り越える地域産業の成長力強化・賃金向上
- 「大阪・関西万博」や国際航路拡大による観光交流・物流の促進
- 県立美術館を中心としたアート振興
- その他

- **総選挙結果等を踏まえた国政の新たな展開に即応**

<財政誘導目標の状況>

区分	R6. 9月補正後	目標値 (R8)	行財政改革努力の必要性
財政調整型基金残高	214億円	200億円	更なる行財政改革により、基金積増を行い財源確保
実質的な県債残高	3,614億円	3,800億円	今後2年間で180億円程度の残高増に抑制

- **とっとり若者Uターン・定住戦略本部との連携や「とっとり若者活躍局」等の意見を踏まえた実効ある政策へ**

[10/27 ととりの若者による政策提案会]

- 今年度のとっとり若者活躍局は33名のメンバーで4月に発足し、毎月、定例会議を実施
 - 県庁タスクフォースとの連携、移住・定住や出会い・子育て等の関係部局との調整を重ね、10/27に政策提案会を実施
- ※別途、とっとり若者活躍局メンバーが企画・実施するプロジェクト（シャッターペイントイベントや学生ライターによる魅力発信等）も進行中

<総選挙後の情勢を踏まえ地方による要請活動も検討>

- 国のリーダーシップによる実効ある人口減少対策を機動的かつ戦略的重点投入を要請
- 各界各層の連帯による国民運動の創設を提起

旧優生保護法に基づく補償法への対応

旧優生保護法違憲判決を受け補償法が10月8日に成立（施行 令和7年1月17日）

【補償金】

優生手術等を受けた本人又は手術後結婚した配偶者（死亡時にはその遺族）が対象
本人1,500万円、配偶者500万円

【優生手術等一時金】

従来どおり支給

【人工妊娠中絶一時金】

人工妊娠中絶等を受けた本人で生存している方が対象
200万円

<新法対応のポイント>

- ・対象に遺族・特定配偶者を追加
- ・人工妊娠中絶一時金の創設
- ・申請主義

- **新たな受給権者が加わるため、広報と相談窓口を充実して対象者の掘り起こしを行う。**
- **連絡が取れる方には、県から申請を勧奨**

<今後の対応>

以下の取組により既に把握している被害者や潜在的な被害者の補償につなげる。

- 「旧優生保護法に基づく補償法等対応プロジェクトチーム」の設置(10月24日)
医療機関、障がい者施設等に対し、新たな補償制度周知や情報提供、働きかけ
- 「鳥取県旧優生保護法総合相談窓口」の設置(10月23日)
新たな補償の対象となる潜在する被害者や、その遺族の方へアプローチするため
相談窓口を東中西部に設置
- 関係団体へ協力依頼
聴覚障害者協会、手をつなぐ育成会、精神障害者家族連合会を通じ被害者へアプローチ
- 連絡がとれる申請対象者へ個別にアプローチ ※人数はR6.10.23時点
[補償金]旧法一時金認定者12名、物故者8名 [一時金]人工妊娠中絶可能性者2名
- 広報の強化及び県独自支援策の拡充
潜在被害者の掘り起こしのための広報経費及び従来の訴訟手続に要する旅費等の経費に加え
新たな補償に係る請求手続に要する経費を支援



<相談窓口QRコード>

オンライン投票立会の今後の展開

- R6衆院選 10/16南部町の期日前投票所で
国政選挙で初となるオンライン投票立会を実施！



選挙人	ここで投票できて皆が喜んでいる。
オンライン投票立会人	はっきりと見えた。立会人不足の解消に繋がる。
有識者	どうやって選挙人を投票所に向かわせるかから、 どうやって投票所を選挙人に近づけるか への転換点となった。
町選管	移動負担を軽減でき、 移動式期日前投票所の開設に有効

- 県HPで公開中の**マニュアル**と合わせ、**県内外へ広く活用促進を図っていく**（県内市町村へは財政支援も）
- オンライン投票立会のさらなる普及促進のため、弾力的な運用について検討

- **移動期日前投票所を開設する市町村が大幅増加**
（現在5団体：北栄町、岩美町、智頭町、南部町、江府町）

条例に規定する選挙人の投票環境の向上のための施策が着実に進展中

米子香港定期便の就航（10/27～週3便）

- 1 運航時間：（日） 香港(11:45)→米子(16:20) 米子(17:20)→香港(20:45)
（火・木） 香港(10:55)→米子(15:20) 米子(16:20)→香港(20:00)
- 2 使用機材：B737-800（188人乗り）

<就航記念行事（10/27）>

グレーターベイ航空（GBA）やEGLツアーズ幹部をお迎えし、

- ① 到着客の歓迎 鬼太郎とともに到着客出迎え
GBA航空 呉 秀蘭（ン・ショウラン）CEOを花束で歓迎
- ② 就航記念セレモニーを開催（主催者等挨拶、テープカット、記念撮影）

10/27到着便搭乗率
90%

⇒香港を基軸に、全世界からの誘客促進・全世界へ魅力発信！

- ・初便で香港のインフルエンサー、メディアが来県し、県内各地の魅力を発信
- ・香港旅行会社も来県し、ツアー造成を促進
- ・山陰の観光事業者が米子発初便に搭乗し、香港での観光情報説明会・商談会でアピール



あいサポート運動テーマソング完成！

11/8(金) 13:00～ エースパック未来中心「大ホール」 入場無料・予約不要

あいサポート大使・歌手の

**平原綾香さんが
テーマソングを
作詞作曲し発表！**



今後の活用・発信

- あいサポート運動の全国PR(育成会全国大会等)
- SNS、ホームページ等を活用した情報発信

ご本人もコンサート
等で披露予定！

あいサポート運動15
周年記念セレモニー
で披露！

- あいサポート運動協定締結の江原特別自治道 金鏡台(キム・ジンテ)知事臨席
- 「瑞宝太鼓」(万博出演予定の長崎県障がい者の和太鼓)も公演

東部医療圏の医療人材確保連携協定(10/25)

◆ 医師不足の深刻な中山間地域を含む東部医療圏の病院間及び鳥取大学医学部で、医師の派遣や育成に連携して取り組む基本協定を締結。 ⇒ 鳥取大学病院から遠く医師不足の特に大きい現状を克服

経緯

「中山間地域を支える医療人材確保研究会」(R5)における東部病院関係者からの「大学病院から遠い東部では病院ごとの医師確保は限界。圏域で医師を確保し、融通し合う仕組みが必要」との意見→関係者で対策を検討・協議。

参加病院等

県立中央病院、鳥取市立病院、鳥取赤十字病院、岩美病院、智頭病院、鳥取大学医学部(地域医療学講座(県寄附講座))

連携事項

① 医師の相互派遣、② 総合診療医の育成・派遣、③ 今後に向けた融通し合う仕組みづくりの検討 など

※ 本協定を踏まえ、中央病院や鳥大病院による岩美病院へ代診医の派遣が加速(産休・育休取得の医師が相次いだことから、中央病院・鳥大病院の医師のローテーションで外来診療を分担(8月～))。

島根原発2号機の安全監視

- 周辺地域として初めて再稼働に向き合い、米子市・境港市とともに継続して監視・確認を行い、問題があれば措置要求の可能性も視野

島根原発2号機（予定）	本県の監視・確認方針
10/28 燃料装荷開始 （～1週間程度）	・幹部職員が立会・確認
12月上旬 原子炉起動	・幹部職員が立会・確認

※トラブル等が発生した場合は即座に米子市・境港市職員と発電所に入構し、状況を確認

- 中国電力に対し意見を提出(10/10)
 - ・中国電力に安全対策について10項目の意見を提出
- 国に中国電力への意見の担保等を求める要望書を提出（10/11）
 - ・原子力規制庁長官に対し、厳格な検査・審査等について
 - ・内閣府(原子力防災)、経済産業省に避難計画実効性の向上の支援等について



中国電力への意見提出



国要望(規制委)

- 経済産業省等へ財源措置も含め要望（10/24、25）

災害時の物流支援体制を強化



- 能登半島地震の教訓を踏まえ、避難所運営体制を強化
 県外の大手物流事業者グループと協定を締結（10/23）
 大規模災害時に県内の輸送力が不足した場合に**全国ネットワークを活かした物流や物資調達支援を受けられる体制を確保**

締結先

（一社）AZ-COM丸和・支援ネットワーク <指定公共機関>
 和佐見 勝 理事長
 ※能登半島地震では、トラック200台以上の緊急物資輸送



支援内容

- ①物資等の輸送力の提供 ②物資の調達及び供給 ③物資拠点の提供及び運営

令和6年度鳥取県国民保護共同実動・図上訓練

- 緊急対処事態（テロ）を想定した国・県・市町村共同訓練
 11月12日（火）国・市町村、警察、自衛隊等が参加
 ※国との共同訓練は、約20年に1回

訓練想定

鳥取市の海岸から複数の不審者が上陸。屋内退避中の住民を、警察と自衛隊による警備の下、県内全市町村に安全に避難。



図上訓練(午前)

- ・国現地対策本部、合同対策協議会（国、県、市町村等が参加）
 避難措置の決定を伝達
- ・県対策本部会議
 避難の方針等について関係者が合意形成。
 （安全な場所へ避難誘導開始）

実動訓練(午後)

- ・屋内待避者の避難誘導
- ・自家用車による避難
 屋内退避区域から避難先に避難（鳥取市民体育館）
- ・医療施設からの避難(要配慮者)
 救急車・ヘリ等による患者の搬送（県立中央病院）

※実動訓練会場（県立中央病院）の周辺では、交通規制やヘリ飛行を計画しておりますので、ご協力をお願いします。

オ-ィビ-ィ
(株)OSBS(東京都)が米子市内に拠点設置

鳥取市・八頭町に続き、県内3カ所目の拠点となる「米子ランチ」を設置！

※人材派遣業大手(株)アウトソーシングの特例子会社

正社員雇用など障がい者雇用の機会拡大と共生社会の実現に貢献。

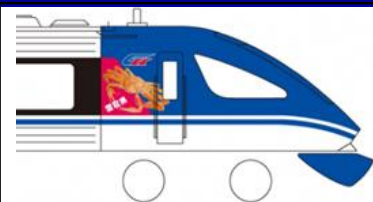
- 【米子ランチ(米子市大工町)の概要】
- ・令和6年12月操業開始予定
 - ・最大15名程度雇用予定
 - ・グループ企業のバックオフィス業務を実施



＜鳥取ランチ＞

県は先端的デジタル活用企業立地促進補助金で支援

**スーパーはくと号かにラッピング
 運行開始！**



松葉がに解禁に合わせて、
 11月6日(水)よりスーパー
 はくと号かにラッピング開始!!
 (～2月末)

【出発式】
 11月7日(木) 新大阪駅



- ・**ゆりやん蟹取イバア**さんによる蟹取県の魅力紹介
- ・関係者による出発進行合図



「かにカニ日帰りエクスプレス」を利用された方に抽選で22名様に**「蟹取県詰め合わせ」**が当たるキャンペーンを実施！ (～1月31日)

江原特別自治道 児童生徒及び教員交流

江原特別自治道教育庁29名の訪問団と教育交流を行います (高校生20名、教職員9名)

今年で交流29年目を迎え、対面での交流は6年ぶりの実施

日程

10/28 八頭高校との交流
 鳥取砂丘

10/29 青山剛昌ふるさと館 **平成27年交流事業**
 米子高校・米子南高校との交流

10/30 水木しげるロード、大山まきばみるくの里



**JAL×コクヨと連携し
 「ととのうとっとり」をアピール**

**国内最大級のサウナを有する
 スカイスパYOKOHAMA(横浜市)で「ととのうとっとり」、
 「県産食材を使用したサ飯」をPR！**

「ととのうとっとり」イベント 11月7日(木)

- ①鳥取県知事×JAL 鳥取三津子社長によるトークセッション (鳥取県の観光やサ旅・食の魅力など)
- ②ハーバルアウフグース披露 (琴浦町地域おこし協力隊 吉野亜紀さん)
- ③サ飯試食会

「ととのうとっとり」サ飯フェア 11月1日(金)～11月30日(土)

県産食材を使用したサ飯メニューを提供！
 牛骨ラーメン、あごかつカレー、とうふちくわ
 大山産ハーブ鶏のチキン南蛮

**とっとり・おかやま新橋館
 10周年記念イベント(11/1)**

■両県出身 **金**メダリスト入江聖奈さん(米子市)、
岡慎之助さん(岡山市)をゲストに **10th**
 迎え、開館10周年をお祝い



■ゲストの好きな地元食材(蟹や和牛)を使った
特別メニューで“ももてなし”
 ※特別メニューは2階レストランで販売
 (11/1～11/30。1日限定5食ずつ)

■10周年記念記念ウェルカムボードを両県知事・
 ゲストの手形で作成し、来館者を出迎え



金 東京五輪 女子ボクシング
 入江 聖奈さん



金 パリ五輪 男子体操
 岡 慎之助さん

■10周年にちなんだ記念フェア開催

- ＜1階ショップ＞ 11/1～24
- ・10周年商品券(1万2千円→1万円)販売
 - ・10周年お得な福袋販売 等
- ＜2階レストラン＞ 11/1～30
- ・10種類特別メニュー
 - ・地酒10種類飲み比べセット 等

秋の夜長に「星取県」の夜空を楽しもう

しきんざん

★紫金山・アトラス彗星が接近中★



紫金山・アトラス彗星
0/2023 A3 (Tsuchinshan-ATLAS)
鳥取市さじアストロパーク103cm望遠鏡写真
(10月20日撮影)

2024年10月20日 18時29分JST
(2024 10 20 3945 UT)
鳥取市さじアストロパーク
(Sai Observatory)
日南町(10月20日、新田浩志氏撮影)

鳥取砂丘 (10月13日、柄木孝志氏撮影)

■ 10月26日まで肉眼で観察可能

★流星群の活動★

■ オリオン座流星群：10月9日～11月5日 (10月21日に極大)

■ しし座流星群：11月6日～30日 (11月18日に極大)

★星を楽しむ主な催し★

- さじアストロパーク：満天の星と球状星団M2, M15 10/25(金)・26(土)
- 県立博物館：秋の星を見る会 10/26(土)
- 倉吉博物館：土星と秋の星座を見よう 10/26(土)
- 米子市児童文化センター：ナイトプラネタリウム 10/26(土)

10/24～31は 鳥取ハロウィンウィーク!

特設サイト



鳥取砂丘一帯がハロウィン一色に!

- ・ 店内ハロウィン装飾、ハロウィン仮装
- ・ 「トリックオアットリート」の合い言葉で素敵なプレゼント (ビジターセンター、こどもの国)
- ・ ドローンお菓子釣りなど (SANDBOX TOTTORI) など

県内各地でハロウィン・パレードイベント開催!

10/26 妖怪ハロウィン (境港)

10/26 米子市公会堂ハッピー★ハロウィンパレード!

10/26, 27 吉岡温泉ハロウィン2024

10/27 鳥取砂丘ハロウィンパーティー

日本一広いハロウィンパーティ会場を約200人で練り歩く、大仮装パレード

当日参加OK!



11/4 とっとりまちなかハロウィーン2024 (智頭町) など

10/24(木)～31(木)は県庁職員 がハロウィン仮装して業務を実施

- ・ 参加したい職員は可能な旨、全庁に呼びかけ



ハロウィン動画も公開中!

